

## ①「流出油災害ボランティア基礎講習会」開講

## ②「海岸漂着ごみクリーンアップキャプテン養成研修会」開講

「海守さぬき会」事務局

### I.活動の目的

ふるさと「さぬきの海」を見守る情報ネットワークを構築すると共に、海洋汚染の監視、海洋環境の保全などを支援するなど、地域社会に貢献するため、「青い海を守る」、「平穏な海を守る」、「豊かな海を守る」を合言葉に、平成20年5月に設立したのが「海守さぬき会」（平成21年度会員数：46名）です。

#### ①「流出油災害ボランティア基礎講習会」

近年、日本各地で海難事故・自然災害等による流出油災害が発生し、流出油防除のためのボランティア活動に大変期待がよせられております。しかし、参加するボランティアの油に関する知識や防除知識など経験の有無が問われています。

そこで、流出油に関する基礎知識を会員に習得して頂き、海難事故や気候変動による自然災害、地震災害などによる流出油災害に、ボランティア貢献できる多くの会員を育成するため、「流出油災害ボランティア基礎講習会」を開講することと致しました。

#### ②「海岸漂着ごみクリーンアップキャプテン養成研修会」

私たちの暮らす瀬戸内海は、内海であり且つ水深の浅い瀬戸内海は、漂流・漂着ごみ、海底堆積ごみによる海洋ごみ問題がより深刻となっています。瀬戸内海全体の海底堆積ごみは約13,000ト、漂流ごみは約10万立米と推定され、漂着ごみは年間約1,400トが回収されています。

瀬戸内海の海洋ごみの問題対策として、発生抑制が必要不可欠で、市民及び子供達への環境学習、指導が重要と考えております。

そこで、会員を対象に「海岸漂着ごみクリーンアップキャプテン養成研修会」を開講することにより、「ICC 基準の海洋ごみ調査」、「活動会場の運営」、「子供達への指導」等が可能なキャプテン（指導者）を育成し、瀬戸内海の海洋環境保全のための社会貢献活動を推進する原動力となることを願っています。

### II.活動の経過

#### ①「流出油災害ボランティア基礎講習会」開講

1. 日 時：平成21年5月10日（日曜日）
2. 会 場：高松港湾合同庁舎 2階会議室
3. 講 師：(財)海上保安協会 三浦翔太先生

#### 《流出油災害の基礎知識》カリキュラム

##### 《第1部》海守について

発足の経緯と直面している問題点・海守が目指すべき方向性・海上保安庁との連携強化・「海守さぬき会」を始めとする地方会への期待と今後の展望等。

##### 《第2部》流出油災害の脅威

故郷の海を守るのは誰か・流出油による海洋汚染の現状と、もし、あなたの故郷が流出油に襲われたら・我が国の海洋汚染犯罪・流出油事故対策に必要な費用と流出油事故に備えて！私たち市民ができることは等について。

##### 《第3部》流出油事故対応の基礎



写真1 流出油災害ボランティア基礎講習会

(参加者：30名)

油の種類と性質・流出した油の動向と被害・流出油量推定と防除手法選択・拡散防止、流出油の回収と処分と油処理剤とは・ボランティアが携わる作業等について。

《第4部》海岸清掃ボランティアによる油の回収  
ボランティアとは！・ボランティア作業にも準備とルールが必要・状況別油の回収方法・ボランティアの組織化と清掃作業の目安・回収した油の処分等について。

## ②「海岸漂着ごみクリーアップキャプテン養成研修会」開講

1. 日 時：平成22年1月16日(土曜日)～17日(日曜日)
2. 会 場：1日目 ホテルグリーンプラザ小豆島 会議室  
2日目 土庄町沖ノ島(北側海岸)
3. 講 師：(財)海上保安協会 三浦翔太先生
4. 参加者： 11名

### (クリーンアップキャプテン養成研修)カリキュラム

～1月16日(座学)半日～

- ①海洋ごみの現状と問題点。
- ②海洋ごみ問題解決に向けた取り組み。
- ③ICC調査の意義と目的。
- ④ICC調査手法と具体的アプローチ方法、留意点など。
- ⑤子供達を対象とした環境学習会に向けて。

～1月17日(現地実習)半日～ 移動:渡船→沖ノ島

- ① 調査海岸の選定。
- ②調査海岸の安全確保(危険予測と除去対策)。
- ③調査区画の選定と確保。
- ④調査区画内におけるごみの収集。
- ⑤収集したごみの分類と調査票への取り纏め。
- ⑥子供向けレクリエーションなどについて。



写真2 座学研修会



写真3 沖ノ島にて現地実習



写真4 研修終了後全員集合！

### III.活動の成果

「流出油災害ボランティア基礎講習会」には、香川県下の会員3名、愛媛県1名、徳島県1名、「海守さぬき会」会員25名、総勢30名の参加を得る事ができました。

地域の方々のボランティア活動を先導できる多くの会員を育成する機会となり、平穏で豊かな瀬戸内の「自分達の海は自分達で守る」ための啓発活動となりました。

「海岸漂着ごみクリーアップキャプテン養成研修会」には、「海守さぬき会」の会員11名の参加を得て、充実した合宿研修会を終了する事ができました。参加者の多くは、講師の分かりやすい講義に、ごみ問題の現状と問題点を十分理解したようで、現地実習で集めた漂着ごみのサンプルの分類では、目を輝かせて調査手法の実習に取り組みました。

本研修会終了会員は、海岸漂着ごみ調査・清掃活動、市民と子供達への環境学習会では、リーダーキャプテンとして活躍できるものと確信するものであります。

### IV. 今後の課題

会員のスキルアップのため、(独)海上災害防止センター(神奈川県横須賀市)が開講する「流出油災害ボランティアリーダー育成講習会」に参加する必要があります。予算等の関係により、次年度以降への課題といたします。

今回開催の「海岸漂着ごみクリーアップキャプテン養成研修会」は、全会員の約25%程度の参加となりました。本研修会を隔年単位で開催し、全会員が受講する事と、毎年秋に開催される「国際海岸クリーンアップ(ICC)」のローカル会場を主催する事を、次年度以降への目標と課題といたします。